

# すめの 議会だより



たくさん収穫できたよ（向田小）

- 9月定例会 ..... 2～3
- 委員会報告 決算を審査しました ..... 4～6
- 代表質問 ..... 7～10
- 一般質問 6人が市政を問う ..... 11～13
- 行政視察報告 ..... 14
- 議会報告会を開催します ..... 15
- 副議長が交代しました ..... 16

**9月定例会 No.113**

平成25年11月15日

発行：裾野市議会

# 平成24年度 決算を認定

## 平成24年度 一般会計の決算状況

歳入 196億 970万円

歳入歳出差引額 11億 3,914万円

実質収支(\*1) 9億 889万円

歳出 184億 7,056万円

実質単年度収支(\*2) ▲6億 6,152万円

\*1 実質収支……形式収支（歳入－歳出）から翌年度に繰り越すべき財源を控除した金額

\*2 実質単年度収支……単年度収支＋財政調整基金積立金－財政調整基金取崩し額

### 総括質疑

「将来投資枠」を設け定住人口の増加に取り組んだが、その実績と効果は想定通りか。

住宅促進事業では新築32件、リフォーム47件で約2,400万円を、宅地分譲補助事業では36区画1,440万円の助成を行った。概ね想定した通りに宅地の供給や住宅建設が進み、定住化に寄与したと考えている。

平成23年8月に策定された第5次裾野市行政改革大綱の進捗による成果は。

継続可能な財政運営を推進する中で、平成24年度の市税収納率は95.7%となり前年度の95.2%から大幅に向上した。

平成24年度末の人口が前年度末より198人減少しているが、5地区の内訳はどうか。

西は+134人、東は-100人、深良は-7人、富岡は-245人、須山は+20人。

駅西土地区画整理の見直しを事業評価監視委員会に付託するにあたり、市の財政状況についても説明されているか。

法人市民税の大きな落ち込み等による市の厳しい財政状況については説明しており、一番の問題である300億円と膨大になった事業費の削減方法について考えをいただいた。

不能欠損額や収入未済額が依然として多額だが。

収入未済額は前年度の4億6,200万円から3億9,800万円と改善している。一気の改善は無理だが、地道な努力により改善がされていくものと考えている。

4億7,799万円の不用額。減額補正をして他の事業に充てる財源とすべきではなかったか。

事業費の確定や入札時期の関係で、最終的に補正に間に合わないものが不用額となるが、翌年度への繰越金として貴重な財源となる。



### 討論 平成24年度 一般会計決算の認定について

#### 反対

1. 臨時保育士の待遇改善がなされていない。正規保育士と同様の勤務労働をしながらも賃金格差があり雇用も不安定な中で臨時保育士を募集しても確保は難しい。
2. 駅西土地区画整理事業に固執し無駄な税金の使い方を進めている。財政の厳しい中、まちづくりには区画整理以外の手法もあるのに、引き続き17.6haの事業面積は変えず年間6億5千万円の支出を予定している。
3. 当初より赤字企業であったガーデンシティすそのは、全国の第3セクターと同様に失敗に終わったが、予想されたその顛末の責任を誰も取っていない。
4. 負担の重い国民健康保険の保険税に対しては、分納相談に加え軽減措置の拡大も含め対応すべき。

#### 賛成

予算審査時に議会より指摘、要望された事項について、行政運営に生かされている旨、決算審査内で確認する事が出来た。当初予算案への反対理由としても挙げられた別々に予算計上された委託事業についても、予算執行の段階で一つにまとめ、大きな経費の削減が図られるなど柔軟な対応を評価する。

反対討論で指摘のあった臨時保育士の待遇改善の問題については全くその通りで、次年度の予算へは何らかの改善策が出てくる事を望む。

裾野駅西土地区画整理事業について、事業区域を縮小した場合に生じる弊害は大きなものであり、訴訟等の要因にもなりうる。地権者から寄せられた複数の計画変更要望に対応し、事業費削減と実施期間の短縮が図られている事は大変評価出来る。

## 議案に対する主な質疑・賛成・反対

### 第 60 号議案

#### 水道使用条例の一部改正

計画的事業の実施及び安定した給水・健全経営を行うため水道料金を平均13.8%値上げ。

#### 修正案提出

原案に料金の軽減または免除の対象を追加し明確にするもの。

#### 原案に賛成

原案は水道事業審議会により答申された意見を重視し上程。修正案の一部利用者に対する減額や免除は、水道事業の安定的経営を阻害する。

#### 修正案に賛成

修正案はこれまで活用されてこなかった減免対象について具体的に対象を示したものの。

### 第 62 号議案 市道路線の変更

市道 2383 号線(下和田・呼子入口)の起点を事業化に伴い変更

土地所有者の了解は。また、事業着手の時期及び費用は。

土地所有者との折衝から、見通しは明るい。平成26年度より測量設計調査に着手したい。全体事業費は1億4,700万円を予定。

### 第 63 号議案 土地の取得

新東名裾野東工事用道路用地を NEXCO 中日本より約 11,000 万

円で購入。

林道用の規格で部分的に安全運転への問題があると聞くが対策は。危険箇所は現地確認済み。注意を喚起する看板を設置する。

### 第 70 号議案

#### 一般会計補正予算(第4回)

庁舎太陽光発電設備設置のための委託料増額(7,980万円)

本庁2階屋上の防水の劣化による補修工事も含まれるが、これは庁舎の免震工事の際には分からなかったのか。

庁舎耐震工事の施工前に防水状況は調査済みで、近い将来補修が必要との結果だった。今回は2階屋上のほぼ全面を使用するため合わせての対応となった。

太陽光発電設備設置による電気料への影響は。

本庁の年間電力使用量は51万kWで電気料は1,080万円程。太陽光発電設備の導入で年間約4万2千kWの発電が見込まれ、余剰電気売電などを含め年間約100万円の効果を見込む。

全国餃子サミット&餃子まつりへの補助金増額(410万円)

当初予算の150万円と合わせて560万円の補助金となる。事業の運営に対し補助金以外の支援はするのか。

事業の開催は2日間だが、35

名程度ずつ職員を配置する計画。また、既に交通、広報、総務関係に市からも実行委員を出している。

### 第 71 号議案

#### 市職員の給与の臨時特例条例の制定

市長以下臨時職を含む市職員の給与を平成26年3月まで1.5%~5%引き下げる

今回給与削減を実施しなかった場合の影響は。

県は9月より職員等の給与削減分を原資に防災減災対策事業への補助金かさ上げ等を計画している。減額しない場合には補助金等への影響も懸念される。

#### 反対

給与削減は勤労意欲を低下させるばかりでなく、民間給与に影響を与え負のスパイラルに繋がる恐れがある。また、防災減災の財源は駅西事業等の縮小により十分捻出可能。

#### 賛成

防災減災対策は東日本大震災後の国及び地方における最優先課題。厳しい財政状況下、その財源確保は不可欠で、平成26年度からの個人市民税増額に加え、今回職員の給与削減額を財源の一部に充て市民の安全安心に努めていく事を評価。

## 議案の賛否

※賛否の分かれた案件のみ記載しています。その他の案件は、全員賛成で可決されました。  
※議長(芹澤邦敏)は採決には加わりません。

議案	議員名	土屋秀明	小田圭介	佐野利安	二ノ宮善明	杉本平治	賀茂博美	三富美代子	勝又明	岩田広行	増田喜代子	瀧本敏幸	二見榮一	岡本和枝	土屋篤男	内藤法子	杉本和男	渡部昭三	大庭敏克	小澤良一	小林俊	芹澤邦敏	結果	
		賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成		賛成
認定第1号 平成24年度一般会計決算	賛成 反対	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定 (賛成多数)
第60号議案 裾野市水道使用条例の一部改正	賛成 反対	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (賛成多数)
第71号議案 職員給与特例条例の制定	賛成 反対	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (賛成多数)

# 決算審査

## 総務委員会

### 【総務部】

#### 市民税課

**Q** 資産税費の委託料で198万円  
の不用額が出た要因は。

**A** 国土調査を基に2,600筆を想  
定したが、次年度へずれてし  
まったからである。

#### 管理納税課

**Q** 徴収を強化するための滞納整  
理機構への移管予告による効  
果は。

**A** 移管した10件を含め26名の対  
象者に対し予告を行い、金額  
で2,571万円の移管予告効果があった。

#### 人事課

**Q** 昨年度の月45時間以上の時間  
外勤務の状況は。

**A** 人数は50人、延べ月数は116  
月である。

#### 総務管財課

**Q** 庁舎免震装置保守点検業務委  
託を随意契約とした理由は。

**A** 特殊な構造物で長期管理が必  
要なため、随意契約を行った。

### 【企画部】

#### 秘書課・広報室

**Q** 広報紙編集印刷委託が、予算よ  
り約200万円減額した要因は。

**A** 転出入による発行部数の変動  
と特集ページの対応による。

### 企画政策課

**Q** 裾野駅循環線「すそのーる」で  
利用者数が減少している要因は。

**A** 無料だった高齢者の料金を有  
良化したことが大きい要因。

**Q** 自主運行バスで、岩波駅線と  
青葉台路線の委託料の算定方  
法は。

**A** 運行経費に対して、それに伴  
う収入により精算している。

### 財政課

**Q** 減債基金の財政的方策は。

**A** 市債の繰上償還に充てるのが  
第一目的である。次に償還金  
に補填する。また、一般財源化で  
きる基金である。

### 【市民部】

#### 地域振興課

**Q** 災害がれきの視察等の費用に  
ついて、交付金の対応は。

**A** 25年3月に4,024万円の特別  
交付税が交付され、そのうち  
293万円を算入経費で計上。

#### 防災交通課

**Q** 24年度の通学路安全点検で指  
摘された箇所への対応は。

**A** 市内全学区の指摘箇所のうち  
14箇所の整備を行った。

#### 生活環境課

**Q** ごみ減量化・資源化実施計画  
策定業務が随意契約である理



現地視察（最終処分場）

由は。

**A** 基本の処理計画を策定した業  
者で、その計画を発展的な実  
施計画とするために同業者とな  
った。

#### 美化センター

**Q** 災害がれき処理の県委託金に  
ついて、その算定根拠は。

**A** 試験焼却では223万円の委託  
金があり、本格焼却では受け  
入れ量等により182万円の委託金  
となった。

### 討論と採決

討論では、税の徴収につい  
て、軽減措置の拡大がされて  
いないなどの反対討論と、予  
算効果や行政効果から判断し  
て認定できるとした賛成討論  
が行われた。

採決の結果、賛成多数で一  
般会計決算は認定された。

土地取得特別会計決算及び  
墓地事業特別会計決算は、討  
論もなく認定された。



審査の様子

### 総務委員会

#### 【企画部】

- 秘書課  
  広報室
- 企画政策課
- 財政課

#### 【議会事務局】

#### 【監査委員事務局】

#### 【出納課】

#### 【総務部】

- 人事課
- 総務管財課
- 管理納税課  
  徴収対策室
- 市民税課

#### 【市民部】

- 地域振興課  
  深良・富岡・須山支所
- 市民課
- 生活環境課  
  美化センター
- 防災交通課

# レポート

## 厚生文教委員会

### 【教育部】 生涯学習課

**Q** 生涯学習情報誌は市民に活用されているか。

**A** 「身近な先生」については、より活躍される場所が確保できるように努力、見直しを行っていく。

### 鈴木図書館

**Q** 16ミリフィルムの貸出しおよび講習会の利用人数が少ないが。

**A** 市内の幼稚園・保育園での利用がある。また、県下でも貴重な視聴覚ライブラリー資料でもある。

### 子ども教育課

**Q** 放課後児童室の受入れ状況は。

**A** 国のガイドラインに従い、若干定員を超えて受入れを行っている。

### 教育総務課

**Q** 市内小中学校の耐震化率は100%か。

**A** 文科省基準では100%であるが、静岡県基準には足りていない箇所もあり、今後対応していく。

### 【健康福祉部】

### 健康推進課

**Q** 乳幼児健診での有所見者が多いが、その内容は。

**A** 言葉の遅れ、言語障害、精神発達で経過観察が多い。有所見者が増加傾向なのは、母親の育児不安、育児環境の問題もあり、継続的支援を行っている。

### 社会福祉課

**Q** 老人クラブが減少していることへの対応は。

**A** 要因は動員の多さ、書類作成の難しさが考えられる。書類等については改善していく。またクラブの減少については今後対応を検討する。

### 子育て支援室

**Q** 家庭児童相談の件数が増加した要因は。

**A** 相談員の増加によりきめ細かい対応ができたことによる。

### 障がい福祉課

**Q** 就労継続支援B型サテライト事業であるグリーンカフェ花麒麟の運営状況は。

**A** 目標の売上4万円（1日あたり）を確保しており、金銭的な支援は特に行っていない。

### 介護保険課

**Q** 保険給付が1億9,490万円の増額となった要因は。

**A** 平成24年に地域区分適用の見直しにより、6級地へ区分さ



現地視察（中央公園内の植松家住宅）

れたため、給付費に3%の加算がされた。

### 国保年金課

**Q** 一般会計からの繰入れ7,140万円は国保会計として必要な額だったのか。

**A** 国保会計の収支差額は2億7,000万円であるが、そのうち基金の取崩しが1億7,000万円である。医療費の突発的な支出を加味すると国保会計として必要な額である。

### 討論と採決

一般会計決算、国民健康保険特別会計決算、後期高齢者特別会計決算および介護保険特別会計決算について、討論はなく、全委員賛成で認定された。



審査の様子

### 厚生文教委員会

#### 【教育部】

- 教育総務課
- 学校教育課
- 子ども教育課
- 生涯学習課
- 鈴木図書館

#### 【健康福祉部】

- 健康推進課
- 介護保険課
- 国保年金課
- 社会福祉課
- 子育て支援室
- 障がい福祉課

# 産建水道消防委員会

## 【建設部】

### 建設管理課・建設課

**Q** 千福大橋の耐震補強事業の内容と今後の予定は。

**A** 配筋等のX線照査の後に補強設計した。工事は橋脚を壁型に補強し、長寿命化も前倒しする。

**Q** 緑越明許と事故緑越の事業数が多かった理由は。

**A** 急きょ相続の発生など相手方の事情がそれぞれで、努力したが用地交渉に日数を要した。

### 建築住宅課

**Q** 木造住宅耐震補強工事への補助金支出の内訳は。

**A** 一般世帯には50万円を24件、高齢者世帯には70万円を13件の補助金を交付した。

### 都市計画課

**Q** 宅地分譲事業補助金は定住化人口増加施策だが結果は。

**A** 6事業者が7か所への36区画分譲地に1,440万円を支出。補助対象外も含めて47区画が分譲。

### 区画整理課

**Q** 駅西土地区画整理事業の見直し、地権者アンケート結果は。

**A** 賛成64.2%、どちらとも言えない22.5%、反対9.3%、無回答4.0%をいただいた。

## 【消防本部】

### 消防総務課・予防課・消防署

**Q** 消防力適正配置調査の目的は。

**A** 裾野市、三島市、長泉町での広域消防行政を踏まえて、ど

のような署所の配置が効率的かを数種で実施した。今後の検討材料。

## 【水道部】

### 上水道課

**Q** 水質検査回数が前年度に比べ多くなっているがなぜか。

**A** 災害がれきの受け入れにより、放射性セシウムとヨウ素について別に検査したため。

### 下水道課

**Q** 公共下水道計画の見直し事業を行ったがその結果は。

**A** 効率的な汚水処理に向けての事業で、全体計画面積の減少や全体事業費の減額に結びついた。

## 【産業部】

### 農林振興課

**Q** パノラマロードを花でいっぱいにする会への補助金内容は。

**A** 畑づくりの耕うんや草刈りの機械借上げ料や種子と肥料の購入費などに対して助成。

### 商工観光課

**Q** 裾野駅前パークがなくなり不便だが、なぜ止めたか。

**A** 区画整理事業の仮換地で市有地が1/3以下に減少し、駐車場経営は難しくなるため、3月末で閉鎖。

### 渉外課

**Q** 久根・公文名市有地の開発は難しいと言うが、今後の考えは。

**A** 森林や健康ウォークとして使うか、財産として保有する。



審査の様子

市の所有地が虫食い状態のため、少しでも解消に取り組む。

## 討論と採決

討論では、裾野駅前パークが代替地を確保することなく廃止、裾野駅西区画整理事業は、見直しでも従来の区域面積と変わらないことなどの反対討論と、同事業の見直しアンケート結果は賛成64.2%と反対の9.3%より大幅に多いなどの賛成討論がされた。

採決の結果、賛成多数で、一般会計決算は認定された。

十里木高原簡易水道特別会計決算、下水道事業特別会計決算、水道事業会計決算は、討論もなく認定された。また、水道事業会計未処分利益剰余金の処分についても、討論もなく原案のとおり可決された。



現地視察（都市計画道路平松深良線）

## 産建水道消防委員会

### 【産業部】

- 農林振興課
- 商工観光課
- 渉外課

### 【建設部】

- 建設管理課
- 建設課
- 建築住宅課
- 都市計画課
- 区画整理課

### 【水道部】

- 上水道課
- 下水道課

### 【消防本部】

- 消防総務課
- 予防課
- 消防署

産建水道消防委員会の審査は、9/11～9/13に行われました。

# 代表質問

会派を代表し  
7人が質問に  
立ちました。

※会派の所属人数により質問時間が異なります。

## ■未来すその（6人所属）

たきもと  
瀧本  
としゆき  
敏幸



大橋市長

**Q** 大橋市政20年間の自己評価について、市民に誇れる政策と心残りの政策はどの様なものか。

**A** 他に先駆けた、こども医療費の無料化やヘルシーパークに直ちに着手。なお、裾野駅、岩波駅、深良新駅の整備は法による制約や予算、JRとの協議などの課題が多く、大きな進展が見られなかった。

**Q** 市民生活や市民活動に不可欠な公共施設整備の方針について、①平成37年度使用開始を想定している新美化センターの具体的な整備方針決定の時期はいつ頃か。②新たな斎場の具体的な整備方針決定の時期はいつ頃か。③須山支所、富岡支所、深良支所の建物整

備計画はどうなっているのか。

**A** ①市単独や広域などの事業主体や関係機関との協議、地元市民との協議などから29年頃に。②市単独と長泉町との広域連携から選択する。長泉町の結論待ち。③必要な修繕工事等で維持管理していく。建て替えは考えていない。

**Q** 世代間交流や健康増進効果が期待され、全国的に設置が進んでいるパークゴルフ場の公設整備について、市長は裾野市にも欲しいと思わないか。また、パークゴルフというスポーツが市民に与える効果を学ぶために、発祥地である北海道幕別町へ、市職員を視察の目的で派遣してはどうか。

**A** ファミリースポーツとして、気軽に楽しむ健康増進を図れる点などで、次世代のニュースポーツと認識している。小山町や御殿場市に施設がある。富士山こどもの国には公認コースがある。地理的に有利な近隣にあり、当市

が公設で設置しなくてもよい。

**Q** 富士山世界文化遺産登録を契機として、裾野市のPR等を目的に、市内企業や市民レベルで交流のある北海道士別市と都市間交流を進めてみてはどうか。また、市長が市内団体代表者と共にトップセールスしてはどうか。

**A** 都市間交流の推進には当市の商品や観光、ブランド等のPRを考えると、交通の利便性や人口規模についての検討も必要と考える。また、市のPRは、知名度アップや地域の活性化に有益であり機会を捉えてPRに努めていく。トップセールスを含めたより効果的な情報発信をしていきたい。



美化センター（大畑）

## 議会を傍聴してみても……

モニター観覧は、敷居が低く、市民等が議会を傍聴するに当たり、非常に有効なシステムであると感じた。当システムをアピールすることにより、市民が市政に興味を持つきっかけになるのではないかと考えられる。 40代・男性

大手企業社員の移動について、色々な噂が流れているこの頃ですが、はっきりと答弁を聞き、少し安心しました。今後も市民に情報提供して欲しいと思います。

60代・女性

傍聴者の方からのご意見・ご感想ありがとうございます。紙面の関係上、すべてを掲載することができませんが、ご了承ください。



■はやぶさ（4人所属）

にのみや よしあき  
二ノ宮 善明



取水ポンプ場（千福が丘）

**Q** 東日本大震災以降、防災担当職員が減員となっていることを懸念する。今後、増員する考えはないか。

**A** 災害発生時には全職員で対応するが、平時からの対応策を築くためにも、防災職員の増員を検討する。

**Q** 地下水は貴重な財産である。安全な水の安定供給のために裾野市はどのような地下水調査と地下水保全対策を講じているのか。

**A** 年間揚水量、最大揚水量、水位、湧水量等の調査を行っている。当市の地下水採取者協議会及び東富土地域地下水利用対策協議会での規制が地下水保全対策と考える。

**Q** 当市の地下水採取に関する規制は何か。また立ち入り検査等の強制力を持っているのか。

**A** 裾野市地下水採取者協議会の規約で自主規制している。しかし、指導要綱なので違反しても、強制力や罰則、過料徴収等は全く無い。

**Q** 外国資本による日本の山林取得が社会問題となっている。水源地域としての山林の売買についての対応策は。

**A** 国において法整備の検討が必要と考える。

**Q** 裾野市斎場建設は、長泉町の広域を目指すか、単独か。また、今後のスケジュールについてはどうか。

**A** 広域での整備か単独か結論に至っていない。今後、長泉町の動向を注視し協議を行っていく。斎場は都市施設として定義されるので都市計画決定が必要となるため、各種申請から設計と工事完了まで5カ年の事業期間を予定している。

■市民クラブ（3人所属）

つちや ひであき  
土屋 秀明



**Q** 市街化区域と調整区域の断絶をなくし、もう少しなだらかな地域特性の変化した構成での市とするためにも、線引きの廃止を。

**A** 調整区域のような規制ができず無秩序な地域になる可能性がある。調整区域に地区計画を定めて建築行為を許可する道もある。

**Q** 人口が5年間で西以外の4地区は総体的に減少といびつな状態が進む。将来を考えて、線引きの廃止等も含めて検討に入るべきではないのか。

**A** 廃止には条件もあるし静岡県との調整も必要で難しい。現時点で廃止は考えていない。

**提案** 県の言いなりではなく、10年先を見つめ、現在進めている都市計画マスタープランの策定で

は線引きの廃止を視野に入れて真正面から取り組む必要がある。

**Q** 乗降客の多い岩波駅周辺の道路は、安全性の観点からも抜本的な整備が必要と考えるが、どのような計画があるか。

**A** 過去において裾野インター線と県道仙石原新田線を結ぶ道路の整備手法等について岩波区と検討した。そして、住民参加型で幹線道路や、地区内道路について検討した経緯がある。今現在は岩波駅周辺に関する具体的な幹線道路の整備計画はない。また、(仮称)神山深良線は、昨年度の調査結果をもとに、現在御殿場市と事業化につい

て調整中である。

**Q** 新公会計の採用で、特に施設の減価償却費や退職手当などの引当金の把握ができる。まずは固定資産台帳の整備が絶対必要と考えるが、その取り組みは。

**A** 財務省が新たな様式による財務4表を検討との情報がある。その方針に沿って対応する。



岩波駅の通勤風景



■五竜クラブ（2人所属）

おおば としかつ  
大庭 敏克



建設中の富岳裾野学園（石脇）

- Q** 駅西土地区画整理事業への取り組み、成果、今後の方針は。
- A** 事業実施から10年経過のため、事業再評価を実施した。今後、必要に応じ計画を修正していきたい。
- Q** 市内道路整備状況と今後の都市基盤整備について見解は。
- A** 都市計画道路等幹線道路の整備を優先実施してきた。今後

は、定住人口増加を図るための都市基盤整備、渋滞緩和のための幹線道路の整備等を進める必要が有ると考える。

- Q** 市有財産の有効利用と民間活力の利用及び市有財産の売却、処理等について、どのように考えているのか。
- A** 屋根貸し事業など積極的に進め、未利用財産は売却も含め今後検討。民間活力の利用では、指定管理者制度の導入を検討していく。
- Q** 「富岳裾野学園」の国・県・近隣市町及び当市の分担金、及び総事業費については、どのようなになっているか。

- A** 総事業費1億9,900万円、国庫補助金8,820万円、県補助金4,410万円、長泉町724万円、清水町648万円、裾野市832万円。
- Q** 施設利用者の費用負担（利用料）をどう取り扱うか。
- A** 児童福祉法の算定に基づき、所得区分に応じて自己負担額を決定。その自己負担を除いた分を国・県・市で負担する。
- Q** 「みどり作業所」の事業内容の拡大と定員増員、今後の入所希望者数はどうなのか。
- A** 弁当・パン等の販路拡大、授産製品の利用推進を支援。登録者数45人。50人まで利用できる。入所希望者数はほぼ同数で推移すると見る。

■公明党（2人所属）

みとみ みよこ  
三富 美代子



- Q** 全国的に局部的豪雨が多発し災害発生件数も増加している。当市の土砂災害「警戒区域」・「特別警戒区域」の指定状況はどうか。
- A** 警戒区域は峰下峯坂、茶畑道場山、公文名5区中坪、桃園山下。特別警戒区域の指定は無い。
- Q** 土砂災害ハザードマップの作成状況についてはどうか。
- A** 土砂災害ハザードマップの配布義務が有るが、現在は未作成。県の見直し調査が行われた後、来年度に作成予定。
- Q** 土砂災害に対する防災訓練の実施状況は。
- A** 土砂災害警戒区域に指定されている5地域において、輪番

- で訓練を実施している。昨年度までに、5地域全てで実施済み。
- Q** 裾野駅橋上駅舎と自由通路に関する検討状況は。
- A** 計画では市単独費による事業費負担であったが、国庫補助等による事業化の検討を行っている。
- Q** 利用しやすい裾野駅整備として、エレベーター設置の見解は。
- A** 市民からも早期のエレベーター設置を求める声も寄せられている。できる限り早い時期に実施できるよう関係機関と協議を進めたい。

- Q** 発達障害等で“読むこと”が困難な児童・生徒のためのデイジー教科書<sup>(※1)</sup>の提供・普及への見解は。
- A** 現在、デイジー教科書を必要とする報告は無いが、情報を各学校に提供し、校長会や各種研究会を通じて啓発に努めていきたい。



土砂災害に対する防災訓練（公文名5区）

※1 デイジー教科書…“読み”が困難な子どもが教科書の内容をパソコンなどで分かりやすく学べるようにしたもの。

代表質問は、9月定例会のみ行われます。

■日本共産党（2人所属）

おざわ りょういち  
小澤 良一



新聞回収用倉庫（町震コミセン）

**A** 総務、経理などの本社機能部分300名が、来年1月に移転予定と聞く。技能従業員は来年春以降に分けて数百人程度の移動予定とのこと。これからも、企業訪問を充実し、情報を把握して、要望事項や立地維持支援など迅速に応えるように努めていく。

**Q** 資源ごみの中で、新聞、雑誌段ボールを古紙回収業者が自治会の集積地にコンテナを置き収集している。自治会に古紙売却代が入ると聞いている。この方式ができる自治会が増えれば裾野市の収集経費も節約できるのではないかと考えるが、実現性については。

**A** 各自治会の判断で試験的に導入することは問題ない。ごみ収集は継続性、安定性が必要で、市民サービスに必要不可欠。引き続き他の資源ごみと同様に行政による収集を進めていく。

**Q** お金がないことを理由にして問題を解決する行政の姿勢が見られないのはどういうことか。例えば、運動公園のジャンボ滑り台が故障で使えないのは。

**A** 大きいローラー滑り台は経年劣化等で危険な状態。撤去で約300万円、補修で4千万円以上、新設で1億数千万円の費用がかかる。方針を本年度中に決めたい。

**Q** トヨタ自動車東日本株式会社（旧関東自動車）裾野工場は、事業の縮小が言われている。市当局が把握している事業縮小計画についての報告を。また、それに対して裾野市はどのように対処されているのか。

■歩志の会（2人所属）

ますだ きよこ  
増田 喜代子



**Q** 市内大手企業に引き続き事業を継続していただくための対策は。

**A** 市長を本部長とする企業立地推進本部を立ち上げ、企業訪問を充実させ、立地維持及び誘致について、全庁的に取り組んでいきたい。

**Q** 全庁で取り組む観光に対する意識の変化に対応するため、市民の意見が反映できるシステムの構築が必要では。

**A** 各種団体の活動内容、運営についてはそれぞれの自主性を尊重しているが、連携強化に向けた調整や必要に応じた活動支援については検討していきたい。

**Q** 今後のフィルム・コミッション活動を推進するための考えは。

**A** 市内へのロケ誘致の拡大と、ロケ環境の整備に向けて、フィルム・コミッション推進連絡協議会を設置し、協力体制について検討していきたい。

**Q** 介護予防も目的とした地域サロンの現状と、今後の取り組みは。

**A** 市内5地区と呼子、南部地区、千福が丘の計8つのサロンを順次立ち上げている。サロンを地域で継続的に運営していくために、研修、講師紹介、サロン間での意見交換等の支援をしている。

**Q** 裾野市の将来を担う子供の教育を明確に

するための教育ビジョン策定時期はいつか。

**A** 今年度中に準備会で骨子を作成、来年度から市民団体や市民の声を反映する機会を設け、再来年にかけて完成させたい。



企業立地推進本部開催（10月17日）



わた なべ しょう ぞう  
**渡 部 昭 三**

**質** (仮称) 神山深良線道路整備事業計画における現状と方向性は。

**答** 昨年御殿場市と連携して、必要性を裏付けるための交通量調査と平成21年度の調査報告書の設計基準等について検討を行った。事業化への課題として、事業費の両市の負担割合や国庫補助等の財源確保、両市の事業優先度の相違等がある。なるべく早い時期に事業化への道筋を示したい。

**質** 東地区道路整備計画に沿った事業には、どのようなものがあるのか。

**質**

裾野駅東口狭あい道路整備事業における現状と今後の取組みは

**答**

用地交渉が成立し契約完了。  
工事終了後平成26年度中に移転完了予定

**答** 平成24年度には、東小学校を中心とした道路網の概略設計を行った。事業化したものは、裾野駅東口の市道1144号線、それ以外にも本村下区の市道1108号線、和泉・本村下区の市道1099号線について事業化に向け準備している。東地区については、道路密度は高いが狭小な幅員の道路が多いことから、整備手法としては現道の拡幅改良が主となる。

**質** 西地区道路整備計画に沿った事業には、どのようなものがあるのか。

**答** 富沢の南町区から北へ延びる市道2113号線を狭あい道路の解消ということで、国庫補助事業により実施する予定。西地区では、現道の拡幅改良とともに道路の新設も必要と考えている。



裾野駅舎



ふた み えい いち  
**二 見 榮 一**

**質** 裾野駅のバリアフリー化は、目標の平成22年度を過ぎていますが早急な対応が必要ではないか。

**答** 土地区画整理事業の遅れや市の財政都合等により着手時期の目途が立たない。まずはエレベーター等の整備によりバリアフリー化を検討している。自由通路新設、橋上駅舎化にも対応できるよう関係機関と意見交換をしている。今年度中に報告できるようにする。

**質** バリアフリー化に対する、具体的な国・県の補助率はどの程度になるのか。

**質**

市の姿勢としては裾野駅のバリアフリー化を進めていくと理解してよいのか

**答**

市も一体となり、バリアフリー化を進めていく必要がある

**答** 全体事業費に対して国が3分の1、県は不交付団体では8分の1、上限2,625万円。

**質** 平成24年度裾野市事業評価結果は、平成25年度の予算編成にどのように反映されるのか。

**答** 平成25年度の当初予算で、高齢者医療費助成事業、学校体育施設開放運営事業などの見直しを行い、一般財源ベースで計3,721万3,000円を縮減した。

**質** 事業評価結果を基にした改善はいつまでに達成するのか。

**答** 行政サービスの急激な低下にならないよう配慮し、関係する国や市の動向も踏まえ、適

切な時期に順次取り組みたい。

**質** 改善できない場合はどのような内容変更や計画変更をして進めていくのか。

**答** 経済的な面だけではなく、質的な改善や事業実施に関わる手法等の検討も必要になる。その都度それに即した対応をする。



エレベーターが設置されている長泉なめり駅



おかもとかずえ  
**岡本和枝**

**質** 駅西事業計画(平成14年度～28年度)の見直し決定時期は、

**答** 当初事業期間は平成28年度までに完了予定。平成27年度当初には実施計画の変更を完了し、事業期間を延長することが必要となる。都市計画決定の変更が必要なものは平成26年度で決定したい。

**質** 通学路の緊急合同点検が行われ、種々の安全対策が取られてきたが、通学路整備のために必要な予算付けと、通学路整備実施計画を策定する考えは、

**答** 整備計画を作っても実効性のある計画にならない。今



さのとしやす  
**佐野利安**

**質** 公共施設内設置AEDの休日対応策は、

**答** 施設の利用者に備えて設置しているもので、利用者のいない休館日や夜間での対応については施設管理上できていない。

**質** いざと言う時にAEDを使用したくても公共施設が使用できないこともあり、そのために24時間開いているコンビニにAEDを設置する考えがないか。

**答** 24時間営業のコンビニ等にAEDを設置することは、人命安全の観点から大変よいと思う。しかし、利用されるお客や従業員のために、自主的に設置する

**質**

駅西事業の工事進捗率はこの10年間で12.8%。  
区域を縮小すべきでは

**答**

今までの経緯を考えれば、事業地内  
全域を整備することは当然のこと

までの合同点検をもとに、安全な通学路の整備のために要望を取りまとめ安全対策に努める。

**質** 向田小学校区の青葉台区からの通学路を、通称へび道から入田川左岸の3m歩道利用へ変更できないか。

**答** 合同で点検し、いかに児童生徒の通学路の安全が確保できるか研究する。

**質** 最後のセーフティネットとしての生活保護制度。全国で生活保護受給者が215万人と史上最高を更新。裾野市ではその原因をどのように分析しているか。

**答** 高齢者及び高齢者世帯への生活保護は増加傾向にある。傷病者世帯、母子世帯、その他世帯も増加傾向にあり、近年の経済状況や社会構造の変化により、就業が可能とされる年代が失業や心身の疾病等により生活困窮状態となり、生活保護受給者になってしまっていることも大きな要因と捉えている。



通称へび道(茶畑)

**質**

保育園、幼稚園、小中学校に  
ミストシャワーを設置しては

**答**

学校や園で自主的に設置が  
可能であるため、普及を奨励する

ことを期待する。現状ではコンビニ等へAED設置は考えていない。

**質** 猛暑による影響は園児、生徒の健康面や教育環境に悪影響を及ぼす。そこで、ミストシャワーを設置する考えがないか。

**答** 金額も数千円の器具で、水道の蛇口が近くにあれば、学校や園で自主的に設置が可能であり、各小中学校や公立保育園、幼稚園の普及を奨励していく。

**質** 南海トラフ巨大地震の発生が高い確率で予想されている。学校の地震対策は大丈夫か。各学校で老朽箇所はないか。

**答** ほとんどが東小学校北校舎を初めとして、昭和50年代までに建築されている。既に30年以上経過し、学校では建具、ロッカー等、床、壁、天井、どれも老朽化してる。限られた予算で、学校の要望を聞きながら取り替え等の修繕で老朽化対策を実施している。



庁舎内に設置されているAED



か 賀 茂 博 美

**質** 基金の運用期間を中期財政計画に基づき見直しては。

**答** 災害等の不意の支出、預金の安全性等から最長1年間と考えている。

**質** 市に移管された平松踏切の歩道整備について、今後どのようにJRと協議していくのか。

**答** 踏切内工事は多額のJR委託費がかかること、踏切幅幅により他のJR御殿場線を横断する通路の廃止等、厳しい協議となる。市内の工事優先順位、財政面から実施の可能性を検討する必要がある。

質

財政調整基金の預入れ先見直しにより、どの程度の増収が見込めるのか

答

1年間の運用により、平成24年度比で400万円程の増収と試算される

**質** 西中学生の通学路として、黄瀬川沿いの遊歩道を整備することは可能か。

**答** 河川管理者である県との協議が必要。今ある遊歩道については、管理者や現地を確認し、遊歩道の整備について検討していく。

**質** 私立幼稚園運営費補助金を公立幼稚園補助職員の増員に活用し、公立幼稚園の3歳児定員を拡大できないか。

**答** 3歳児への教育の質や環境に主眼を置いて考慮すべき課題であり、運営費補助金の削減を定員増につなげる考えはない。

**質** 市内の小学校に1教室しかない発達障害児支援の通級教室の教員を教育委員会で複数校兼務命令等を行い、市内の巡回教室とすることはできないか。

**答** 静岡県での特別支援教育は拠点校方式での開設であり、巡回指導はできない。今後、他市町と連携協議し県教委へ働きかけていきたい。



平松踏切



ない とう のり こ  
内 藤 法 子

**質** 老朽化が深刻な施設と、今後統廃合を考えている施設は。

**答** 水泳場、東小南棟の東側施設の統廃合は考えていない。

**質** 財源確保の手法に、ふるさと納税があるが、当市の実績は。

**答** 平成20年度から平成22年度は0件、平成23度は2件で20万円、平成24度は1件で10万円、合計30万円である。

**質** 当市の市民が他の自治体へふるさと納税した実績は。

**答** 裾野市民が他の市町に行っているふるさと納税の平成24年度実績は、40件程度で、100万円強となっている。

質

裾野市の人口は、8月に県下一の減少を記録した。今後の対策は

答

定住人口増加のため、宅地分譲補助、住宅建設等促進の施策を展開

**質** ふるさと納税は、全国に裾野市のファンを増し、知名度アップの効果がある。今後の取組は。

**答** 魅力的な商品を贈呈することと、魅力的な制度を構築することであると考える。先進事例の研究に努めていきたいと考えている。

**質** 事務事業評価は、これまで、非公開で行われてきた。開かれた行政を目指し、透明性のある委員会に変えるべきでは。

**答** 当市には既に行政改革推進委員会が存在している。この委員会が行政運営の適正化、簡素・効率的な執行を推進する役割

を担っている。委員会にて事業評価を実施することが最も効果的であり、実務的であると判断している。今年度に取り組みべきテーマ、手法等を委員会で協議して決定している。平成26年度も同様に取り組みか否かは同委員会の意向による。



市営水泳場



# 視／察／報／告

## 総務委員会

平成25年7月2・3日

### 青森県弘前市「定住自立圏構想について」

この地域は、もともと地域連携が進んでいた地域である。しかし行政サービス水準の維持等将来は極めて厳しい状況が懸念されていたため、定住自立圏構想を推進していくこととなった。当市においても今後のまちづくりを考えていく上では、施策ごとに広域での取り組みを検討していく必要があるのではないかと。

### 北海道函館市「事業仕分けについて」

H23.24年度と事業仕分けを行うことにより、事務の効率化等に、所管部局の意識にも変化が出てきた。当市でも職員一人ひとりの意識改革が重要であり、また、議論の場を公開するなど、補助金の抜本的見直し等も必要ではないかと。

### 函館市「地域交流まちづくりセンター」

旧名門デパートを買い取り、市民交流やNPOなど、観光案内をはじめ地域情報の発信を通じ、地域のコミュニケーションやまちづくり活動の拠点地として利活用されている。



## 厚生文教委員会

平成25年7月10・11日

### 北海道夕張市 NPO法人ゆうぱり観光協会

夕張市は、2006年に破たんし、財政再建団体になっている。市債（借金）は311億円あり、年間31億円返済している。小学校も22校から1校に減り、中学校、高校も1校に減っている。税金も高くなるなど、行政サービスが低下している。観光協会の活動は市役所を頼ることはできず、NPO法人のみで活動しているが、大変である。

### 北海道札幌市 社会福祉法人麦の子会

札幌市において、2年前から発達支援を専門的にを行う団体を視察した。団体では発達に心配のある子ども、知的障害のある方を中心に支援をおこなっている。そこでは職員や家族の方々力が合わせて活動していた。近年、里親ファミリーホームも新設するなど、どんな子どもも生き生きと輝いて生きていける支援がそこにはあった。



## 産建水道消防委員会

平成25年7月30・31日

### 香川県高松市

### 「線引き廃止と新しい都市計画制度について」

昭和46年香川中央都市計画区域は高松市外2市2町の広域で構成されていたが、高松市の人口は安価な都市計画区域外等周辺市町へ流出した。大規模プロジェクト等の終息により線引き制度を廃止。新たな土地利用コントロール策として、用途白地地域全域を特定用途制限地域に指定した。高松市による都市計画マスタープランの支所等の集約拠点を核とした都市構造「多核連携型コンパクト・エコシティ」への推進取組みは、当市でも目指すべきまちづくりの方向性である。

### 岡山県岡山市

### 「市営住宅における指定管理者制度の導入について」

平成20年度より全市営住宅に指定管理制度を導入するに当たり、昭和築造住宅の老朽化への対処として、全ての修繕・保守・点検管理業務を指定管理者に一元化することとし、最低限度の修繕費提案額を設けさせた。又、指定管理者による高齢入居者への定期的な見回り・点検に合わせた安否確認見守り活動実績やノウハウを活かしたサービスの提案の今後の効果が期待される。



裾野市議会初開催！

## 議会報告会のお知らせ

開催日：11月20日(水) 時間：19:00～20:30

市議会では、議会および議員のあり方や責務を示した議会基本条例を施行し、皆様に見える市議会を目指し、取り組んできております。

今回、議員と市民の皆様と自由に意見交換等を交換しあえる場として、議会報告会を開催することになりました。どうぞ、お気軽にご参加ください。

### 対象者

深良・富岡・須山地区

### 会場

生涯学習センター  
3階学習ホール

### 対象者

西・東地区

### 会場

市役所  
地下会議室

予約なしで直接会場にお越し下さい。

### トヨタ自動車（株）東富士研究所 見学（6/12）

市内大手企業であるトヨタ自動車(株)において、FC自動車、路車間通信等応用安全技術の動向およびインフラ整備についての視察研修を行いました。

### 埼玉県ときがわ町 議会報編集委員会 視察受入れ（7/16）

埼玉県ときがわ町議会の議会報編集委員会が、裾野市議会へ議会だよりの視察に来庁されました。裾野市議会の行なっている議員による編集や執筆について等、議会運営についての情報交換を含め、活発な意見交換が出来ました。



### 北九州市への職員派遣報告（7/17）

フィルムコミッションの取り組みについて、平成24年10月～平成25年3月まで北九州市へ派遣した職員より派遣報告を受けました。

### 静岡県市町議会議員研修会（7/29）

国際ジャーナリスト・キャスター・明治大学国際日本学部教授でもある蟹瀬誠一氏による『グローバル社会を生き抜く日本の行方』と題して講演していただきました。



### 内陸フロンティア推進コンソーシアム主催 「地域セミナー」（8/23）

各市町の内陸フロンティアへの取り組みや独自の地域づくり事業について説明し、民間企業の地域づくりへの積極的な参加を促すことを目的としたセミナーであり、裾野市では金嶋副市長が発表されました。

## 議会活動報告

# 副議長が交代しました

副議長の辞職に伴い、副議長選挙を行いました。  
その結果、二見榮一議員が当選しました。

このたび、議会の選挙により副議長に就任いたしました。この責務の重大さを痛感するものであります。平成25年6月22日にユネスコは優れた遺産として、富士山を世界文化遺産に登録しました。しかし、東北においては、東日本大震災が発生して2年が経過しましたが、いまだ課題が山積している状況であります。



副議長 二見榮一

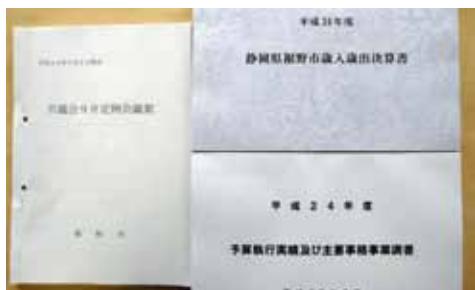
国内の景気の現状判断は「緩やかに回復している」となっておりますが、経済政策「アベノミクス」による円安や株高は地域経済や中小企業に及んでいるとはいえません。地方の財政状況は深刻化しています。現在の社会の少子高齢化の問題は大きな課題であり、人口減少が進んでいる裾野市における定住人口増加策は必要不可欠なものとなっております。

また、裾野市議会においては、議会基本条例も施行され、市民への議会報告会を開催する予定となっております。今後も、議会として、市民の声を聞きながら、行政施策と市政発展にむけて、最大限努力してまいります。

## 市議会のあれ？これ？

Q. 『議案書』ってどんなもの？

A. 定例会に上程される条例等の詳細が記載されています。



Q. 決算審査では何を見るの？

A. 『決算書』と『予算執行実績及び主要事務事業調書』等を参考にして審査を行います。



決算書



予算執行実績及び主要事務事業調書

## 議会傍聴にお越しく下さい

平成25年12月定例会（内定）

11月28日	木	本 会 議	10:00～
12月 2日	月	総 務 委 員 会	9:00～
		厚生文教委員会	13:30～
12月 3日	火	産建水道消防委員会	9:00～
12月 4日	水	本会議（一般質問）	10:00～

12月 5日	木	本会議（一般質問）	10:00～
12月 6日	金	本会議（一般質問）	10:00～
12月 9日	月	本会議（一般質問）	10:00～
12月10日	火	本 会 議	10:00～

市役所5階の議会事務局で簡単な手続き（名前と住所の記入）を行えば、議会を傍聴することができます。9月定例会の傍聴者は**154名**でした。

議会をチェック!!

裾野市議会

検索

### 編集委員

■委員長  
賀茂 博美

■副委員長  
小田 圭介

■委 員  
岡本 和枝  
二ノ宮善明  
佐野 利安  
土屋 秀明